



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社

コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 取締役社長兼COO (氏名) 川本英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室本部長 (氏名) 新保邦彦

TEL 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	109,092	14.5	5,504	49.0	5,081	59.2	3,872	57.1	2,916	△29.9
27年3月期第2四半期	95,313	—	3,693	—	3,191	—	2,465	—	4,162	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	13.74	—
27年3月期第2四半期	8.74	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	134,705	37,343	37,198	27.6
27年3月期	129,498	34,994	34,823	26.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	10.8	11,000	48.9	10,000	63.1	7,000	43.6	24.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) - 、 除外 一社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	282,744,185 株	27年3月期	282,744,185 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	870,505 株	27年3月期	858,733 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	281,879,528 株	27年3月期2Q	281,905,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 継続企業の前提に関する注記	9
(6) セグメント情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策効果を背景に企業収益や雇用及び所得の改善がみられるものの、中国経済の減速により景気の先行きは不透明な状況となっております。海外におきましては、米国は雇用市場の改善が続くなか個人消費は堅調に推移しており、欧州も難民流入による混乱がみられるものの、ユーロ安を追い風に輸出が拡大しており、経済は緩やかな回復を続けています。一方中国では過剰生産調整による景気減速が顕在化、新興国においても資源価格や通貨の下落により成長率は鈍化しております。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、国内の新車販売は、軽自動車増税の影響もあり9ヶ月連続で前年を下回るなど低迷しております。また中国でも景気減速により1月から9月までの新車販売が前年比0.3%増と伸び悩んでいますが、米国では好調な景気に支えられ新車販売は引き続き堅調に推移しております。

このような市場環境のもと当社グループは、安心・安全をめざしたインテリジェント・セーフティ事業とコネクティビティ事業に経営リソースを投入して強化をはかるとともに、グローバルでの事業運営強化や事業構造改革の推進により企業体質の強化をはかり売上収益・利益の拡大に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、日本国内における新車販売の低迷による減収がありましたものの、米州、アジアにおけるOEM（相手先ブランドによる生産）市場向け売上の前年同期比増加を主要因とし、売上収益は前年同期比14.5%増収の1,090億92百万円となりました。増収による操業度改善、海外拠点から日本国内への生産移管効果、原価低減等により、営業利益は前年同期比49.0%増益の55億4百万円となりました。税引前四半期利益は前年同期比59.2%増益の50億81百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は前年同期比57.1%増益の38億72百万円といずれも増益になりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

(日本)

当セグメントの売上収益は前年同期比7.8%減収の430億87百万円、営業利益は前年同期比65.1%増益の28億3百万円となりました。

国内自動車販売の低迷、市場回復の遅れにより減収となりましたものの、昨今の円安ドル高状況を鑑みた海外拠点から日本国内への生産移管効果、原価低減により増益となりました。

(米州)

当セグメントの売上収益は前年同期比55.6%増収の460億53百万円、営業利益は前年同期比110.7%増益の13億81百万円となりました。

好調な自動車販売の状況下、新規商権の立ち上がり等によるOEM市場向け売上伸長、中南米子会社のEMS（電子機器受託製造サービス）事業の売上も好調に推移、また、前年同期比での円安ドル高影響もあり、増収増益となりました。

(欧州)

当セグメントの売上収益は前年同期比15.7%減収の67億38百万円、営業利益は前年同期比82.0%減益の44百万円となりました。

自動車販売は好調を維持しているものの、モデル切り替えの端境期であり、OEM市場向け売上が減少したことから、減収減益となりました。

(アジア・豪州)

当セグメントの売上収益は前年同期比20.1%増収の132億13百万円、営業利益は前年同期比27.5%増益の15億33百万円となりました。

中国でのOEM市場向け売上の伸長、及び前年同期比での円安影響により、増収増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりです。

		第1四半期	第2四半期
当期為替レート	米ドル	約121円	約122円
	ユーロ	約134円	約136円
前期(参考)	米ドル	約102円	約104円
	ユーロ	約140円	約138円

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産が1,347億5百万円であり、前連結会計年度末より52億6百万円増加いたしました。このうち、流動資産は734億89百万円であり、前連結会計年度末より62億81百万円増加いたしました。非流動資産は612億16百万円であり、前連結会計年度末より10億74百万円減少いたしました。

負債につきましては、973億61百万円であり、前連結会計年度末より28億57百万円増加いたしました。

親会社株主持分につきましては、371億98百万円であり、前連結会計年度末より23億74百万円増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、85億91百万円(前年同期末残高は89億84百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、売上債権の増加、棚卸資産の増加がありましたものの、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、及び買入債務の増加により68億17百万円の収入(前年同期は66億11百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得等により、64億47百万円の支出(前年同期は57億20百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の増加等により3億79百万円の収入(前年同期は56億34百万円の支出)となりました。

資金調達の概要

2015年6月にシンジケート方式によりタームローン80億円を再組成いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当該事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,257	8,591
売上債権	32,519	33,308
未収入金	1,380	1,177
棚卸資産	22,489	26,699
その他の金融資産	499	1,126
その他の流動資産	2,061	2,585
流動資産合計	67,207	73,489
非流動資産		
有形固定資産	26,754	25,434
無形資産	26,380	26,640
持分法で会計処理されている投資	1,121	1,065
有価証券及びその他の金融資産	2,591	2,542
繰延税金資産	4,096	4,205
その他の非流動資産	1,345	1,327
非流動資産合計	62,290	61,216
資産の部合計	129,498	134,705

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	260	1,734
償還期長期債務	8,901	872
買入債務	24,932	28,434
未払金	10,086	6,556
その他の金融負債	251	400
未払費用	10,110	11,037
未払法人所得税	1,781	2,091
引当金	621	595
その他の流動負債	74	661
流動負債合計	57,020	52,385
非流動負債		
長期債務	27,176	35,002
その他の金融負債	1,422	1,302
退職給付に係る負債	8,131	7,941
引当金	495	484
その他の非流動負債	257	245
非流動負債合計	37,483	44,975
負債の部合計	94,504	97,361
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	6,934	10,243
その他の包括利益累計額	7,681	6,750
自己株式	△139	△143
親会社株主持分合計	34,823	37,198
非支配持分		
資本の部合計	34,994	37,343
負債・資本の部合計	129,498	134,705

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上収益	95,313	109,092
売上原価	79,807	90,547
売上総利益	15,506	18,544
販売費及び一般管理費	11,896	13,283
その他の収益	239	469
その他の費用	155	226
営業利益	3,693	5,504
金融収益	82	74
金融費用	522	652
持分法による投資損益	△60	155
税引前四半期利益	3,191	5,081
法人所得税費用	727	1,207
四半期利益	2,464	3,873
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	2,465	3,872
非支配持分	△0	1
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益：		
基本	8.74円	13.74円
希薄化後	—	—

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
四半期利益	2,464	3,873
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動額	213	4
純損益に組み替えられない項目合計	213	4
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,424	△776
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動額	2	1
持分法のその他の包括利益	58	△186
純損益に組み替えられる可能性がある項目 合計	1,485	△961
その他の包括利益合計	1,698	△957
四半期包括利益	4,162	2,916
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	4,153	2,942
非支配持分	9	△25

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	26,100	2,669	△6,542	3,865	△129	25,963	165	26,129
変動額								
四半期利益			2,465			2,465	△0	2,464
その他の包括利益				1,688		1,688	9	1,698
四半期包括利益合計			2,465	1,688		4,153	9	4,162
資本金から剰余金への振替	△5,753	5,753				—		—
欠損填補		△8,421	8,421			—		—
自己株式の取得					△5	△5		△5
その他		△1	1			—		—
変動額合計	△5,753	△2,669	10,888	1,688	△5	4,148	9	4,157
期末残高	20,346	—	4,346	5,554	△134	30,112	174	30,287

当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	—	6,934	7,681	△139	34,823	171	34,994
変動額								
四半期利益			3,872			3,872	1	3,873
その他の包括利益				△930		△930	△26	△957
四半期包括利益合計			3,872	△930		2,942	△25	2,916
親会社株主に対する配当金			△563			△563		△563
自己株式の取得					△4	△4		△4
変動額合計	—	—	3,308	△930	△4	2,374	△25	2,348
期末残高	20,346	—	10,243	6,750	△143	37,198	145	37,343

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	2,464	3,873
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・ フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	5,002	5,954
法人所得税費用	727	1,207
持分法による投資損益	60	△155
金融収益及び金融費用	440	578
固定資産売却等損益	△13	△160
売上債権の増減	980	△1,183
棚卸資産の増減	△2,056	△4,491
買入債務の増減	402	3,938
引当金の増減	59	18
退職給付に係る負債の増減	△113	△189
その他	△563	△1,270
小計	7,391	8,120
利息の受取	63	57
配当金の受取	18	18
利息の支払	△215	△189
法人所得税の支払	△646	△1,189
営業活動に関するキャッシュ・フロー	6,611	6,817
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△1,068	△2,310
無形資産の取得	△4,716	△4,488
有形固定資産の売却	25	352
有価証券及びその他の金融資産の取得	△123	△48
有価証券及びその他の金融資産の売却	211	0
その他	△48	47
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△5,720	△6,447
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減	298	1,464
長期借入債務による調達	26,500	8,000
長期借入債務の償還	△32,427	△8,517
配当金の支払	—	△563
自己株式の取得	△5	△4
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△5,634	379
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	315	△415
現金及び現金同等物の増減	△4,426	333
現金及び現金同等物の期首残高	13,411	8,257
現金及び現金同等物の期末残高	8,984	8,591

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年9月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	46,723	29,595	7,989	11,004	95,313	—	95,313
セグメント間の売上収益	20,538	2,729	1,641	30,105	55,015	△55,015	—
計	67,262	32,325	9,630	41,110	150,328	△55,015	95,313
セグメント利益	1,697	655	247	1,203	3,804	△110	3,693
金融収益	—	—	—	—	—	—	82
金融費用	—	—	—	—	—	—	522
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	△60
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,191

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△110百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	43,087	46,053	6,738	13,213	109,092	—	109,092
セグメント間の売上収益	33,877	2,542	1,919	31,456	69,796	△69,796	—
計	76,964	48,596	8,657	44,670	178,888	△69,796	109,092
セグメント利益	2,803	1,381	44	1,533	5,763	△258	5,504
金融収益	—	—	—	—	—	—	74
金融費用	—	—	—	—	—	—	652
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	155
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	5,081

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△258百万円は全額セグメント間取引消去であります。